A&D HOLON
A&Dホロンホールディングス

2027年3月期 第2四半期 決算説明補足資料

2026年11月6日

株式会社Ａ＆Ｄホロンホールディングス

証券コード 7745

2027年3月期 第2四半期決算概要

半導体関連事業の需要調整に伴う業績低迷により大幅減益

ただし、計測・計量機器事業および医療・健康機器事業の業績が好調に推移したことにより、第２四半期累計予想に対して売上高、営業利益ともに上回る

なお、半導体関連事業の受注残高は前年同期比＋40.3%と需要回復に向けた動きがより鮮明になる

2027年3月期業績予想

医療・健康機器事業の全地域における需要は継続を見込む

また、計測・計量機器事業においても、日本を中心に堅調な業績推移を想定

当初予想は、売上高700億円（＋2.9%）、営業利益80億円（＋14.3%）へ上方修正

なお、2027年3月期の配当予想は、年間60円（中間30円、期末30円）の当初予想から変更なし

売上高　30,172百万円（前年同期比 -0.7%）、営業利益 2,178百万円（同 -31.0%）と大幅減益で着地
第２四半期累計予想に対しては、売上高、営業利益ともに上回る

（単位：百万円）	2026/3期 Q2累計		2027/3期 Q2累計		増減額	前年同期比	（ご参考）	
	額	率	額	率			期初２Q累計予想	達成率
売上高	30,381	—	**30,172**	—	-209	**-0.7%**	28,000	107.8%
売上原価	16,671	54.9%	**16,243**	53.8%	-428	**-2.6%**	—	—
売上総利益	13,710	45.1%	**13,928**	46.2%	218	**1.6%**	—	—
販売費及び一般管理費	10,553	34.7%	**11,749**	38.9%	1,196	**11.3%**	—	—
営業利益	3,156	10.4%	**2,178**	7.2%	-978	**-31.0%**	800	272.4%
経常利益	3,330	11.0%	**2,273**	7.5%	-1,056	**-31.7%**	750	303.2%
税引き前利益	2,774	9.1%	**2,479**	8.2%	-294	**-10.6%**	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	1,704	5.6%	**1,666**	5.5%	-37	**-2.2%**	400	416.5%
１株当たり中間純利益(円)	62.25	—	**60.84**	—	-1.41	—	14.61	—

セグメント別業績

半導体関連事業

- 当社の事業領域における需要調整局面は継続、売上高減少に伴い固定費が吸収できず減益
- 受注残高は8,473百万円と前年同期を上回り堅調に推移、需要回復に向けた動きがより鮮明になる

（単位：百万円）	26/3期 2Q累計	27/3期 2Q累計	前年同期比
売上高	5,075	1,279	-74.8%
営業利益※2	1,570	-675	-
受注残高※3	6,041	8,473	+40.3%

計測・計量機器事業

- 日本では、MCS機器の自動車関連試験装置に係る複数案件に加え、第２四半期からエーディーシー社を連結子会社化し増収。経費抑制効果もあり増益
- 米州では、 MCS機器の需要低迷が継続、為替の影響により売上高は前年同期並みとなるも、販管費増加により営業損失が拡大
- アジア・オセアニアでは、インドおよび台湾における計量機器販売が引き続き好調

（単位：百万円）	26/3期 2Q累計	27/3期 2Q累計	前年同期比
売上高	13,505	14,925	+10.5%
計量機器	10,367	11,507	+11.0%
MCS機器※1	3,138	3,417	+8.9%
営業利益※2	679	1,027	+51.3%
受注残高※3	6,874	6,398	-6.9%

医療・健康機器事業

- 日本では、医療機器、健康機器ともに需要が好調に推移、海外向け製品の増産に伴い営業利益も増加
- 米州では、医療機器、健康機器ともに好調な需要が継続、販売活動強化に伴うコスト増も、増収効果に加え米国関税の還付が営業利益を押し上げ
- 欧州では、現地需要が堅調に推移、特需案件や為替影響もあり増収、営業利益は、販売活動強化に伴うコスト増も、販売価格適正化および為替の影響などにより増益

（単位：百万円）	26/3期 2Q累計	27/3期 2Q累計	前年同期比
売上高	11,800	13,967	+18.4%
医療機器	2,282	2,930	+28.4%
健康機器	9,517	11,037	+16.0%
営業利益※2	1,706	2,909	+70.5%
受注残高※3	291	460	+58.1%

※1　MCS機器は、従来「DSP機器」としていた製品群の名称を変更したものです（MCS：Measurement Control Simulation）
※2　セグメント別の営業利益には、全社費用およびセグメント間の取引調整額（26/3期Q2: -799百万円、27/3期Q2: -1,083百万円）が含まれておりません
※3　当社グループは原則として見込生産を行っておりますが、一部受注生産を行っている製品があり、当受注残高は受注生産品の実績となります

地域別業績

日本は、半導体関連事業における需要調整の影響があり、前年同期比減収減益
米州は、医療・健康機器事業が好調に推移し業績をけん引、為替の影響や米国関税の還付による利益押し上げもあり前年同期比増収増益
欧州も、医療・健康機器事業が業績をけん引、販売価格適正化および為替の影響などにより前年同期比増収大幅増益

（単位：百万円）

		日本			米州			欧州			アジア・オセアニア		
		26/3期 Q2累計	27/3期 Q2累計	前年同期比	26/3期 Q2累計	27/3期 Q2累計	前年同期比	26/3期 Q2累計	27/3期 Q2累計	前年同期比	26/3期 Q2累計	27/3期 Q2累計	前年同期比
半導体関連事業	売上高	5,075	1,200	-76.3%	-	40	-				-	38	-
	営業利益※	1,570	-696	-	-	13	-				-	7	-
計測・計量機器事業	売上高	7,942	8,893	+12.0%	2,355	2,418	+2.7%	285	368	+29.1%	2,922	3,244	+11.0%
	営業利益※	366	592	+61.8%	-1	-42	-	-14	60	-	328	416	+26.7%
医療・健康機器事業	売上高	1,980	2,196	+10.9%	5,122	6,304	+23.1%	4,419	5,114	+15.7%	277	352	+26.8%
	営業利益※	1,456	1,843	+26.5%	139	513	+269.0%	24	430	+1,655.8%	85	121	+42.4%
合計	売上高	14,998	12,290	-18.1%	7,478	8,763	+17.2%	4,704	5,483	+16.6%	3,200	3,635	+13.6%
	営業利益※	3,393	1,743	-48.7%	137	484	+252.7%	10	491	+4,698.4%	414	545	+31.7%

※セグメント別の営業利益には、全社費用およびセグメント間の取引調整額（26/3期Q2: -799百万円、27/3期Q2: -1,083百万円）が含まれておりません

通期業績予想の修正

計測・計量機器事業、医療・健康機器事業の業績が好調に推移したことに加え、米国関税の還付や為替の影響などにより、第2四半期累計業績が当初予想を上回って進捗、今後の需要予測なども踏まえ、通期業績予想を上方修正

	（単位：百万円）	2027/3期 2Q累計 当初予想	2027/3期 2Q累計 実績	2027/3期 2Q累計 予想達成率	2027/3期 通期 当初予想	2027/3期 通期 修正予想	2027/3期 通期 対当初予想増減率	（ご参考）2026/3期 実績	（ご参考）2026/3期 増減率
売上高	**合計**	28,000	**30,172**	**107.8%**	**68,000**	**70,000**	**+2.9%**	**69,326**	**+1.0%**
（セグメント別）	半導体関連	-	1,279	-	8,500	8,500	0.0%	11,114	-23.5%
	計測・計量	-	14,925	-	32,300	33,000	+2.2%	31,545	+4.6%
	医療・健康	-	13,967	-	27,200	28,500	+4.8%	26,667	+6.9%
営業利益	**合計**	800	**2,178**	**272.4%**	**7,000**	**8,000**	**14.3%**	**9,209**	**-13.1%**
（セグメント別※）	半導体関連	-	-675	-	1,900	1,900	0.0%	3,628	-47.6%
	計測・計量	-	1,027	-	3,200	3,400	+6.3%	3,387	+0.4%
	医療・健康	-	2,909	-	4,300	5,100	+18.6%	4,009	+27.2%
経常利益		750	**2,273**	**303.2%**	**6,900**	**8,200**	**+18.8%**	**9,470**	**-13.4%**
親会社株主に帰属する当期純利益		400	**1,666**	**416.5%**	**4,500**	**5,500**	**+22.2%**	**5,923**	**-7.1%**
1株当たり純利益(円)		14.61	**60.84**	-	**164.31**	**200.82**	-	**216.33**	-

想定為替レート：1米ドル150.00円、1露ルーブル1.90円

※セグメント別の営業利益には、全社費用およびセグメント間の取引調整額は含まれておりません

既存のCD-SEMで培った電子光学技術を フォトマスクの欠陥修正という新たな技術領域に応用

半導体関連事業
中長期的な競争力強化

当社連結子会社の株式会社ホロン（以下、「ホロン」）は、収差補正SEMを活用したフォトマスク欠陥修正技術に関する研究成果を、2026年９月８日から11日に米国カリフォルニア州モントレーで開催されたフォトマスク技術分野の国際学会「SPIE Photomask Technology + Extreme Ultraviolet Lithography 2026」において発表しました。

研究成果の概要

- 従来からホロンCD-SEMに搭載されている「収差補正光学系」を用いることで、欠陥修正に必要な低加速電圧で極めて小さなビーム径を維持でき、 高精度欠陥修正を実現できる。
- 修正加工再現性、修正加工寸法制御性、加工仕上がり形状、修正加工精度、修正加工後の光学特性、などの性能を評価し、実用上問題のないことを確認した。

フォトマスクの歩留まり向上において、
フォトマスク欠陥修正技術は
極めて重要な役割

ホロンでは、収差補正機能を備えたSEMカラムを搭載し、
電子ビームのスポット径縮小と高分解能化を実現した
フォトマスク欠陥修正装置を開発中。
既存の技術基盤を活かした新たな価値創出を目指す。

※2026年9月10日リリース： https://andholon.com/wp-content/uploads/2026/09/news_20260910_jp.pdf
※本件は研究開発活動に関するものであり、2027年３月期の当社グループの業績に与える影響はありません

（ご参考資料）事業内容

半導体関連事業

1.6nmノード以降のEUVマスク製造に求められる寸法測定精度のフォトマスク寸法測定装置や、ナノレベルで計測できる電子顕微鏡、微細加工装置に組み込む電子銃など、半導体製造工程における前工程の「フォトマスク作成」に関わる製品を提供

前工程：マスク工程 → フォトリソ工程 → 完成
後工程：切断・接着工程 → 封止工程 → ICチップ完成

回路設計 → **フォトマスク作成** → 露光 → ウエハ検査 → ウエハ完成


フォトマスク用
CD-SEM


フォトマスク用
欠陥レビュー＆分析SEM


電子銃


超高性能高圧電源

■ その他の製品
・超高性能定電流電源
・高速高精度偏向アンプ

計測・計量機器事業

音、振動、変位、力、粘弾性などの物理量を高精度に計測、分析する機器や、対象の質量を計量する機器などを提供


引張・
圧縮試験機


タイヤ転がり
抵抗試験機


自動車関連
試験機


分析用
電子天びん


生産ライン用
計量センサー


ウェイト
チェッカ

医療・健康機器事業

設立当初から手掛けてきた電子血圧計や、病院などで使用される検定付き体重計など、医療用から家庭用に至るまで、さまざまな機器を提供


全自動血圧計


生体情報モニタ


業務用体重計


家庭用血圧計


吸入器

A&D ホロンホールディングス

投資家情報：https://andholon.com/ir/

IRライブラリ：https://andholon.com/ir/library/

ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。
従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。